

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

## 事業名 福祉メディアステーション運営費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2614)

E-mail: [c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 27,575 千円 (前年度予算額：27,575 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	27,575	13,787	0	0	0	0	0	0	13,788
要求額	27,575	13,787	0	0	0	0	0	0	13,788
決定額	27,575	13,787	0	0	0	0	0	0	13,788

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・障がい者の情報技術技能の取得を支援し、社会参加のきっかけづくりや情報機器を使った就労による経済的自立を促進する。

### (2) 事業内容

#### ○福祉メディアプラザ事業

福祉メディアステーション全体の運営

#### ○福祉メディア実習室事業

- ①資格取得を目指す障がい者の方への IT 指導及び相談の随時実施
- ②障がい者を対象とした個々のレベルに合わせた個別研修を実施

#### ○バーチャルメディア工房事業

- ①在宅ワーカーに対する在宅就労支援事業
- ②在宅ワーカーに対する研修事業

在宅重度障がい者のためのコンピューターネットワークを活用した IT 技術習得訓練

#### ○障害者 IT プラザ事業

- ① IT に関する情報提供 (パソコン及び関連支援機器の展示体験学習、イ

ンターネットによる機器紹介)

② I Tに関する利用相談 (パソコン等情報通信機器の利用方法や、支援機器の提案等の相談対応)

③ パソコン利用促進事業

・ I Tホームティーチャー派遣 (外出困難な重度障がい者への、パソコンの基本的な使い方等の訪問指導)

・ I Tホームティーチャー講師研修会 (I Tホームティーチャー等を対象とした、特殊機器等の操作についての技術研修会)

④ パソコンボランティア派遣事業

パソコンボランティア派遣事業 (パソコンの利用に関して困っている障がい者に対しボランティアを派遣)

⑤ 障害者ふれあいパソコンネットワーク事業 (各地域別情報提供員を設置し、地域情報等を提供)

○ 飛騨ランチ運営事業

福祉メディアステーション (大垣市) への来所が困難な地域の障がい者に対し、身近な地域で行う、パソコンと関連機器及びソフトウェアの展示や相談事業等

### (3) 県負担・補助率の考え方

・ 国 1 / 2 県 1 / 2 国庫補助 [地域生活支援事業]

### (4) 類似事業の有無

・ 無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	27,575	福祉メディアステーションの運営・事業に必要な経費を補助
合計	27,575	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県障がい者総合支援プラン

# 事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
障がい者の情報技術技能取得と就労支援等を行う、岐阜県身体障害者福祉協会による福祉メディアステーションの運営を支援し、障がい者の自立と社会参加の推進する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、運営補助金であり、目標とする指標は設定できない。

### (前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
福祉メディアプラザ事業
  - ・機器の展示、相談（来場者 3,096 人／年）
  - ・IT 指導員によるパソコン指導（利用者 820 人／年）
  - ・利用促進事業（IT ホームティーチャー派遣、ボランティア養成派遣）
  - ・ふれあいパソコンネットワーク事業（啓発広報、通信指導・相談）飛騨ブランチ運営事業
  - ・機器の展示、相談（来所者 79 人／年、訪問相談件数 132／年）
  - ・パソコンボランティア養成講習会
  - ・IT ホームティーチャー派遣

### (前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
福祉メディアステーションや飛騨ブランチを利用したパソコン指導や機器展示を通じて、多くの障がい者が情報技術にふれ、技術を習得する機会を得ることができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	県内の障がい者にとって、情報機器に気軽に触れ、ニーズに応じた技術取得が可能な貴重な場となっていることから、継続して運営を支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	本事業実施以降、多くの障がい者が、気軽に、身近に情報技術を取得し、学ぶ機会を得て、情報社会での様々な困難が解消されていることから、事業効果が現れている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	県内の多くの障がい者が利用しやすいように、飛騨ランチとの連携を図るとともに、タブレット端末等の最新機器の研修を行う等、利用の促進と効率化を図っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>利用者の増加のため、インターネットを使って広報を図っているところではあるが、事業の周知のために、利用者へのPR等、有効な手立てを検討していくことが必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>パソコン及び関連支援機器の展示や在宅障がい者の個別のニーズに対する情報技術の取得の支援により、障がい者の自立や社会参加が促進されるため、継続的に実施しつつ事業の見直しを実施する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

